

CONTENTS

- ・ 病院長ご挨拶
- ・ ドクターヘリ運用開始
- ・ 診療科紹介
- ・ 就任教授紹介
- ・ 2020年度病院年報発行
- ・ 2022年度公開講演会



編集：杏林大学医学部附属病院
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel 0422-47-5511 (代表)
<https://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>



4月より市村正一先生の後任として病院長を拝命いたしました。これまで自身の専門領域である呼吸器外科、なかでも肺癌の外科治療に携わってまいりましたが、地域の患者さんに役立つためには医療機関同士の連携が重要であることを強く認識しております。

地域の医療機関の皆様におかれましては、日頃より当院への患者さんのご紹介ならびに当院で診療後の患者さんの受け入れ等につきまして大変お世話になっておりますこと、改めて御礼申し上げます。

近年、医師の働き方改革や特定機能病院の機能強化などから、当院には、高難度新規医療技術や救急医療の充実、新規感染症対策についての連携、逆紹介の推進などが求められてきております。今年度前半からは手術室も増室して機能強化に努めますし、3月末からは東京都ドクターヘリ事業の基幹施設ともなって運用を開始しております。

患者さんによりよい医療を提供するためには、さらに一層、皆様とコミュニケーションを取り合いながら連携を強化していくことが必須であると考えており、今年度も11月に医療連携フォーラムを予定しております。引き続き、皆様のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

病院長 近藤 晴彦

当院を基地病院として、東京都ドクターヘリが運用を開始

杏林大学医学部附属病院が基地病院となり、東京都は救急医療体制のさらなる充実を図るため、ドクターヘリの運用を3月31日に開始しました。

これまで都は、東京消防庁と連携して、長距離運航や夜間飛行が可能な東京型ドクターヘリを多摩や島しょ地域において運用してきました。新たに導入された専用ドクターヘリは、小型のため短時間での離陸など機動力が高く、特に多摩地域で救急医療体制を充実させることができます。

普段は、当院と協力病院2施設のいずれかの医師・看護師がドクターヘリの駐機する立川市内の基地に待機し、状況に応じて都内に約100カ所指定された合流地点（ランデブーポイント）から患者を搬入し、機内で治療を行いながら、当院や協力病院等の救命救急センターへ搬送します。これにより、一段と迅速な救命処置が可能となります。当院としても一人でも多くの都民の命を助けることができるよう、運営に協力していきます。



医学部附属病院第3病棟屋上ヘリポート、受入れ訓練の様子(中央)、ストレッチャー(右上)や人工呼吸器・モニター等が収納された壁面(右下)

診療科紹介

糖尿病・内分泌・代謝内科



診療科長・教授
やすだ かずき
安田 和基
糖尿病、
内分泌・代謝疾患



講師・外来医長
こんどう たくま
近藤 琢磨
糖尿病、
その他の代謝疾患、
内分泌疾患全般



学内講師・医局長
たなか としあき
田中 利明
内分泌疾患全般、
FGF23 関連疾患、
糖尿病

糖尿病・内分泌・代謝内科は、糖尿病、脂質異常症、肥満症などの代謝性疾患とともに、間脳・下垂体、甲状腺、副腎、副甲状腺、性腺など様々な内分泌疾患を診療しています。いわゆるコモンディーズから、稀だが重要な病型、疾患まで、また急性期から慢性期まで広く扱います。

糖尿病については、生活指導や服薬指導、インスリン注射の導入・管理はもちろん、1型糖尿病やインスリンポンプ使用例、糖尿病合併妊娠、持続グルコースモニタリングを必要とする血糖治療困難例、合併症の進行した症例など、専門性の高い病態も扱います。内分泌腫瘍やホルモン欠損症、電解質異常、最近のがん治療の副作用としての内分泌疾患などにも対応しています。大学病院として高度で先進的な医療を提供すると同時に、多職種によるカンファレンスも定期的に行い、他の診療科とも協力して包括的に診療を行っています。

また、これらの疾患は、患者さんごとに病態が異なり個別化した対応が必要となるため、それぞれの生活や人生に寄り添う気持ちを忘れずに診療することを心がけています。

地域医療を担う方々との有機的な連携も使命と考えており、共同での研究会なども開催しています。地域医療機関の皆さまから広く患者さんをご紹介いただきたいと思います。

2022年4月就任教授紹介



小児科
(臨床教授) よしの ひろし
吉野 浩

山梨医科大学医学部卒業 博士(医学)
平成2年神奈川県立こども医療センター
ジュニアレジデント、平成4年杏林大学小児科入局、
平成9年東京大学医科学研究所癌病態研究部、
平成12年杏林大学医学部小児科学教室 着任

この度、臨床教授を拝命いたしました。

小児を疾患という側面だけでなく、全人的な視点で、健康を守り、成長を支えるような診療を心がけます。私の専門分野である小児血液腫瘍疾患では、関連科の先生方の御協力のもと大学病院の総力を挙げて最善の治療を尽くしたいと思います。どうか御指導の程、よろしくお申し上げます。

2020年度病院年報を発行

外来・入院診療実績、医療の質・自己評価、各診療科の診療体制や先進医療への取り組み、診療実績などを紹介しています。

本誌は医師会や地域の医療機関等へお届けしています。また、病院HPでもご覧いただけます。(2022年3月発行)



2022年度 杏林大学公開講演会 (5～9月)

【日程・テーマ・講演者】	【日程・テーマ・講演者】
5月21日(土) 14:00～15:40 [杏林医学会主催] 『新型コロナウイルス』 感染症科 臨床教授 倉井大輔、看護師 福川尚克 他	6月21日(火) 15:00～16:00 『のどの健康を守ろう！嚥下と声のリハビリテーション』 リハビリテーション室 言語聴覚士 間藤翔悟
8月6日(土) 11:00～12:00 『コロナ禍とうつ病 -予防と治療の点から学んでみましょう』 精神神経科 教授 渡邊衛一郎、准教授 坪井貴嗣	9月7日(火) 11:00～12:00 『心不全を知る・防ぐ・うまく付き合う』 循環器内科 臨床教授 河野隆志

オンライン形式、事前予約制 *詳細は大学・病院HPで発信していきます。